

令和8年度 学校評価 (年度当初)

本年度の重点目標		<ol style="list-style-type: none"> 1 人権を大切にし、子どもたちの心に寄り添う、安全で安心な教育環境の整備 2 一人一人に応じたきめ細やかな教育と自立を目指した指導・支援の充実 3 センター的機能を発揮し、地域に開かれ、地域と協働する学校の推進 4 働き方改革を推進し、教職員が安心して協働できる働きがいのある職場づくり 	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学校生活のための教育環境の整備 卒業後に向けた系統的な学習の取組 交流及び共同学習の推進と充実 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な学習環境の整備と健康管理における関係者の連携、情報共有 各教科の内容を踏まえた授業実践の発展 学校間交流の更なる充実児童の実態に合わせた活動内容やグループ、集団の人数の調整 	<ul style="list-style-type: none"> けが等防止を念頭に指導体制や学習環境を整え、学年間の情報共有を積極的に行う。 部研究の取組を通し、各教科の内容の系統性を踏まえた授業展開を意識し、目標や手だてに関係職員等で共有していく。 オンライン、直接交流の併用実施の工夫や相互の理解を深められよう実態に合った課題や内容を検討する。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学習環境の整備 卒業後の生活を見据えたキャリア教育の推進 地域資源を活用した学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全に関する情報等の共有、生徒の実態に合わせた環境整備や職員配置、人権を尊重した指導支援の徹底 卒業後に求められる人と関わる力やコミュニケーション力、生活力等の向上を目指した授業実践 交流相手校との活動内容の充実、外部人材、地域施設を活用した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間の連携を強化し、相談等ができる体制をつくる。健康観察に努め、異変に気づけるようにする。人権意識をもち協働して指導・支援に当たる。 部全体で生徒を育てる意識をもち指導・支援に当たる。卒業後の生活を意識した活動の充実を図る。 双方の目的に沿った活動内容等を検討する。地域資源を活用した活動の充実を図る。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を実践する意識の醸成 自立と社会参加に必要な知識、技能、態度の育成 地域社会との交流の積極的推進 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な教育を行うための環境整備と健康・安全意識を高める指導の充実 卒業後の生活に直結する学びに向けた目標設定 周囲と適切に関わる力を引き出すための目標設定 地域社会との協働を、交流活動や啓発活動、出前授業、スポーツ活動を通して具現化 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に対する意識を常に共有する意識の醸成 看護員を含む職員間の連携を密に教育環境を整備 課題への、学校、本人及び保護者一体の進路指導 個に応じたコミュニケーション方法を模索 交流及び共同学習の実施方法の工夫、地域資源の活用等による障害者理解の啓発
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭の今後の方針の検討、取りまとめ 業務内容の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 検討事項の意見の取りまとめと計画案の提示 各部、PTA、校務分掌等の意見の集約や連携、調整 継続的な業務内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭の方針について反省等を受け、話し合いのまとめや各部、PTAの意見を調整し、今後の計画の道筋を立てる。 業務内容の改善を常に心がける。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく教科指導の実践と推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習会等で、児童生徒の学びを共有する実態把握ツールの情報提供や助言 学習指導要領の実践的活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学習会や部研究にて、児童生徒の学びや発達を「教科の視点」で整理する機会をつくる。
研修部	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質・能力・意欲の向上につながる情報や機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が主体的・対話的に深く学び合える研修の機会や方法の検討と提供 肢体不自由教育の専門性と授業づくり向上に重点を置いた学習機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の内容や回数・方法等を見直し、各分掌等と連携しながらニーズや合理化を図った研修会の検討や改善を行う。 R8 から実施する専門性を高める授業づくり研修会の反省をまとめ今後の研修会の充実へつなげる。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> よりICT機器を活用できる環境整備と研修等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の保管場所や使用場所の整備、周知を行う。 ICT機器を活用できるような研修や情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動部と連携し、ICT機器を活用できる環境整備や研修を行う。 校務支援システムやホームページ等を活用し、ICT機器の活用方法の周知や、活用の様子の発信を行う。
指導部	<ul style="list-style-type: none"> 学校の安全管理に努め、児童生徒が安心して生活できる学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面を想定した引き渡し訓練や防災・防犯訓練の提案と実施 スクールバスの安全な運営 いじめ・不登校および防災・防犯対策委員会の充実、職員への情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年の反省点を生かし、実際場面に則した訓練になるように内容を充実させていく。 安全なスクールバスの乗降について介護員、保護者への周知、徹底を図る。 各種委員会を通して、学校全体で問題解決にあたる。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者への将来の生活に関する情報提供や関係機関との連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員と保護者対象に将来の生活に関する情報提供や学習会等の実施 関係機関と定期的な情報共有の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者に、将来の生活を見据えた具体的な情報を定期的な情報提供や学習会の実施 関係機関へ訪問したり、電話連絡したりして、最新の情報を収集する。
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心に学校生活を送るための環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> けがの予防のためのヒヤリハット事例の収集・活用 新しい看護員の体制で安全に医療的ケアを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例の収集では事例を提示することで危険箇所や対策を明確にして注意喚起を行う。 保健師を加えた新しい体制を構築し安全な医療的ケアを実施する。
自立活動部	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関や関係部署との連携を活用した自立活動の専門性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくりを意識した情報交換会、研修会の企画・運営 プール指導において、関係部署との連携を図り、指導法や評価方法についての周知を実施 	<ul style="list-style-type: none"> OT・PTとの情報交換会や外部機関による学習会を実施して、指導力向上につなげる。 保健体育部や教育情報部と連携して、プール学習や自立活動領域の専門性を高める。
教育支援部	<ul style="list-style-type: none"> 巡回相談や研修会などを通じて地域と連携し、把握したニーズに応じた情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやPOTETOを活用した特別支援教育の指導方法や進路などについての情報発信 校外・校内の相談に対応し、必要に応じて関係機関との調整を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会などでホームページの閲覧やPOTETOの使用法を紹介し、活用を促す。 すまいる相談や校内支援会議などを通して、校外・校内のニーズに応じた支援の課題を職員間で共有していく。